

事務事業名 はたちのつどい事業

出力日：令和08年03月16日

キーコード：662

施策：	03	子ども・若者の健全育成	財務コード	01090603-14-552
基本事業：	99	施策の総合推進	担当部	教育部
基本事業の 成果指標			担当課	生涯学習課
			担当係	生涯学習・青少年担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	～	新規・継続	継続	会計区分		実施計画
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）		2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）				
20歳になる新成人（4月2日から翌年の4月1日生まれが対象）		新成人（20歳対象）を主とした実行委員会により、企画、運営を行う。市広報、ホームページ等により公募したはたちのつどい実行委員会への指導・助言その他諸事務を行う。はたちのつどい当日の運営スタッフとして、中学生にボランティアとして協力要請を行っている。				
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）						
成人としての自覚を促すことにより、新成人が主体的に社会参加できるようにする。						
4. 成果（簡易評価は未記入）						

成果指標名称	単位	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	10年度	目標
		実績	実績	当初	要求	計画	計画	
参加者数	人	874	796	770	770			800
成人を迎えた人のうち成人式に出席した人の割合	%	78	71	75	75			75

5. コスト									
事業費	計	千円	1,271	1,289	1,655	1,708			
	国	千円	0	0	0	0			
	県	千円	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0			
一般	千円	1,271	1,289	1,655	1,708				
正職員人工数	人工	0.3	0.3	0.3					
正職員人件費	千円	2,345	2,407	2,514					
トータルコスト(事業費+正職員人件費)	千円	3,616	3,696	4,169	1,708				

6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている	（状況）参加者数は78人減、割合は7ポイント減となった。（課題）案内状の送付（対象者全員）や、広報紙、市ホームページ、SNSなどにより周知に努めたが、参加者数や割合の増につながらなかった。より魅力ある式典となるよう工夫する必要がある。なお、令和6年度から二部制から、対象者全員が一堂に会する一部制に変更したが、円滑に実施することができた。								
どちらかといえばあがっている									
あがっていない（停滞・低下）									

7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	維持	類似事業	なし						
手段効率化余地	あり	コスト削減余地	なし						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	基礎的事務事業	業務推進課題	なし						
成果向上余地	中程度								

8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）					改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）									

対象者から、はたちのつどい実行委員を募り、テーマ・記念品の決定、式の進行など、企画運営をさせることで、新成人（20歳）にとって魅力ある式典を開催していく。	はたちのつどいの運営サポートには、中学生ボランティアを活用して、将来のはたちのつどいの対象年齢となった際に、実行委員として運営に携わってもらえるようアピールを行っている。
---	---

事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）	備考・特記事項 or 進行管理欄
新成人に「成人としての自覚を促し、自ら生き抜こうとする青年を励ます」ことを目的に、式典を実施する事業として開始。成人の日が変更されたことに伴い、三連休の真ん中の日（中日）に成人式をしてほしいという市民の要望もでてきていた。	平成26年成人式より、成人の日（ハッピーマンデー）の前日の日曜日（三連休の真ん中の日）に、日程変更して実施することとなった。成人年齢引き下げ（2022年4月）に伴い名称を「はたちのつどい」に変更。